

写真  
募集中!

## わが家の愛ドル ～1月生まれ～

申込みは  
こちら▶ 

しゅうか  
中筋 柊佳ちゃん (1歳)



1歳のお誕生日おめでとう！元気いっぱい、よく笑うしゅうかちゃんが大好きだよ～！元気に育ってね！

ことな  
山村 采来ちゃん (1歳)



立ってる時間のほうが長くなってきました！もうすこしで歩けそう！一緒に頑張ろうね！

めい  
大久保 明依ちゃん (3歳)



お誕生日おめでとう！いつも楽しいお話で皆を笑わせてくれてありがとう^^これからもスクスク育ってね♡

つむぎ  
瀬戸 紬ちゃん (2歳)



2歳おめでとう。おしゃべりとお歌とダンスが好きな紬ちゃん。いっぱい食べて、ゆっくり大きくなってね。

あんな  
谷口 杏奈ちゃん (3歳)



おしゃべり大好き♡笑顔のかわいいあんなちゃん！仲良しのお兄ちゃんと一緒に、元気いっぱい大きくなってね！

とうり  
門田 橙和ちゃん (1歳)



みんなのアイドル橙くん！1歳のお誕生日おめでとう！これからもいっぱい笑って過ごそうね♡家族みんなより

みおか  
清水 巳央果ちゃん (3歳)



みお、たんじょうびおめでとう！これからも元気いっぱいのみおかです。だいすき♡

ふわり  
前地 花羽莉ちゃん (5歳)



お誕生日おめでとう☆去年は、大きな手術を乗り越え本当によく頑張りました！今年は楽しい年にしようね♡

就学前の2月生まれのお子さんの  
写真を募集します【抽選】。  
1月10日(金)までに上記二次元コードからお申し込みください。  
☎ 企画広報課 広聴広報係  
☎ 0739 (26) 9963  
📄 <https://www.city.tanabe.lg.jp/kouhou/wagayanoidol.html>

## たなベスマイル

### 私が輝ける場所



浦 くみさん

本宮町本宮

私は人と触れ合うのが大好きです。これは、幼少期から警察官のように社会のために活躍される人々に憧れていたからかもしれません。自分には何ができるのだろうと考え、思いついたらすぐ行動を起こしてきました。

平成23年の台風で、人々を救う消防団員の皆さんの活躍に心から感銘を受け、私も消防団に入団。その後、女性が活動できる場として本宮支団が設立され、現在では彼女たちと地域イベントで蘇生法を指導するなど様々な啓発を行っています。

また本宮の祭りでは以前、男性が中心な役割を果たしていました。しかし、参加したいと思っていた女性たちに、九鬼宮司がさくらみこしという、女性が担ぎ手となる神輿みこしを設けてくれました。華やかな神輿は大変人気があります。おかげさまで、去年は4世代で祭りに参加できました。

本宮は男女の隔たり無く、誰もが活躍できる地域であるため、様々な世代の人が集まり、新たな交流が生まれています。皆さんは心温かく、自分に元気を与えてくれます。そんな本宮の方々の方に少しでもなれるよう、交流の場を大切にしていきたいです。

12 つくる責任  
つかう責任



## 青春キラリ！高校生レポーター

SDGsを考えて



「子ども達に笑顔をお届ける」

写真・文 田辺高等学校 村上 すみれ



今回、私は「田辺中央青果株式会社」の高木さんにお話を伺いました。中央青果さんでは普段、農家さんから仕入れた野菜や果物を競りにかけ、八百屋さんなどに卸す仕事をされているそうです。

こちらの中央青果さんでは、食べられるけれど市場に出すことのできない不ぞろいな野菜や果物を子ども食堂に寄付する活動を1年前から行っています。この活動はある高校生の提案から始まったそうです。実際、高木さんはこの活動が始まってから廃棄する野菜などが減ったように感じるとおっしゃっていました。寄付する野菜は季節によって様々で、私が取材に伺った日はピーマンが寄付されていました。初めは子ども食堂への寄付の認知度が低くあまり野菜が集まらなかったそうですが、今では社員さんや農家さんたちが協力してコンテナ1箱から2箱分の野菜や果物等を、週に2度、子ども達に届けているそうです。

第36回

## ミナラのキラキラ たなべ日記



～ Insight into Lifelong Learning Festival ～  
生涯学習フェスティバルでの気付き

アゼルバイジャン生まれ  
カナダから来ました  
ミナラ・シュキュロワです♪

11月23日に生涯学習フェスティバルで「世界の国々を見てみよう！」をテーマに、アゼルバイジャンとカナダの文化や歴史を紹介しました。その中で紙工作体験を行い、カナダの先住民の伝統的な家 Canadian Teepee やアゼルバイジャンの絨毯 Azerbaijan Halçası を作りました。Teepee を作っている子どもたちは、「今もカナダの先住民の人は Teepee に住んでいるの?」「Teepee の中は作らないの?」とカナダの文化に興味を持ちながら喜んで作ってくれました。保護者は紙に糸を縫い付けるなど細かい作業をしながらオリジナルの絨毯じゅうたんを作りました。

国際交流員として田辺に来て3年経ちますが、「アゼルバイジャンはどんな国ですか」、「何語でしゃべりますか」といった質問が多く、日本ではあまりなじみがない国だと改めて感じました。今年からは、より多くの方にアゼルバイジャンとカナダの文化を感じてもらえるイベントを、定期的実施していきたいです。

